

～セミナー内容～

- オリエンテーション
- 「上間イズム」私の流儀
- 「丸尾 操 45歳 私の想い」
- 読書会
課題図書 「一生ものの仕事の習慣」
- 上間先生の講義
「 患者様とのコミュニケーションと接し方について 」

オリエンテーション ～上間先生の挨拶より～

「 誰と出会えるか 」 **それが一番のその人の実力！！**

私の感想

私は、この上間先生の言葉より「出会いは偶然ではなく、出会うべくしてその人に
出会っているんだ！」と思う

努力し続けている人には その人に必要な人が、自然と出会えるように周りの人が
応援してくれるのだと思い、だからその人の実力なのだと思う

もし出会ったとしても 出会っただけで終わってしまっは、話にならず
何か繋がりを持ってずっとお付き合いしていただく為には、自分から進んで相手に
行動するべきだし、そしてその人が 自分にとって必要なのだと気付くべきである

本 “ 生き方上手 ” 日野原 重明先生著 ← **おすすめの本**
の内容より

☆ 新人の医師にどんな医師になりたいか？という質問

内科・外科医というのではなく、

- ・ 医師として どうなりたいのか？
- ・ 誰をモデルにしたいのか？ が大事



ビジョンは大きく持つ

夢が大きければ、自分が生きている間に達成しなくても誰かが後を引き継いでくれる

- ・創める事を忘れなければ 老いる事はない
年齢を考えずに 一途に夢を追いかける



仲 間 = 助けてくれる・支えてくれる大事なもの

自分独りで何かするより 周りの人と一緒にすること（参画）により もっとすばらしい考えや出来る事があり 達成度が増す
その時、相手が若い世代であれば また違ってくる

- ・若い時に刷り込まれた事は とても身に付く



反対にそれが 間違ったものであればとても怖い
だから 正しい事を若い間にしっかり身に付ける事が その人の財産になる

「 上間イズム 」

流儀ー考え方

人間にとって 一番大事な事 「 想い 」

組織を （ 水質 ） に例えて

- ・ 水があわなければ いくら綺麗な水でも その水に馴染めない
- ・ 自分にあった水を探すべきか？！

色々な人がいるが “どんな流儀か？” が大切

→ $\left\{ \begin{array}{l} \text{人間力} \\ \text{学 力} \text{（ 歯科衛生士としての基礎知識 ）} \\ \text{技術実力} \end{array} \right\} \text{ バランス（感覚）が大切}$

→ 現場主義 先ず「分かる」 そして 「出来る」 が大切

略史

ずいぶん昔に歯科衛生士を作ろうとする歯科医がいたが 出来なかった過去が有る
それからずいぶん経って 昭和23年に歯科衛生士法制化

上間京子先生の使命 → 歯科衛生士の社会的地位の向上



患者様に役に立たなければ意味がない

その為に法律を変えなければ！！と

目標 : 国会議員になること

私の感想

きっと 少しずつ自分の想いを形にして、最後にこの目標にたどり着いたんだろうと思います。本当に自分をとことん見つめて突き詰める先生は、かっこいいと思いました。今の私は、まだまだ入り口に立ったところなので、どの道を進むか？自分でも分かりませんが、進み方のお手本を傍で見せていただき、少しでも“まね”が出来ればいいな～と思いました。がんばります！！

歯科衛生士

・専門性を大切にしたい 現在、資格を持つもの 22万人



働いているもの その半分

年代の幅が狭く、いい歯科衛生士が育たない

歯科衛生士としての 品性・人格 が伴わなければ長く続かない！！

「治す事」 ← 大きな義務

歯周治療を予防に入れるべきなのか

歯周治療 = 予防 ?

⇒予防の中の 歯周治療

そして caries 予防 が非常に大切



出発点はマタニティーから

色々な面から患者様の年齢を視る

人間は年齢を非常に大事なものととらえている

～ためになる論語～

“ 筭 よく 盤水を回す ”

盤(タライ)の水を、たった一本の筭で廻すことは困難だけど、根気強く廻し続ければ、やがて流れが起き、そして渦となる。 一人の努力は小さくても、決してあきらめないでやり続けると結果が出る

→ 根気が必要

「 人間力 」 って 何？

- ・ 自分を自分がちゃんとチェック出来なければならない
(自分を客観視する)
- ・ 笑顔は相手のもの
共感出来る表情が出来ているか？
相手が気持ちの良い返事をしているか？

私の感想

以前は 鏡を見て 自分の顔の表情をチェックする事は本当にありませんでしたが
最近、自分が気付けば すぐ鏡をみたり 表情チェックからスマイルチェックを
しています すると、少し時間が経つと口角の辺りの筋肉が ぶるぶる震えてきて
自然に下がるのです

“きっと、私の日頃の使っていない筋肉なのだ”

とまた 口の周りをマッサージしながら、口角を上げる練習をしています

「丸尾 操 45歳 私の想い」 より

40歳は、一番輝く時 ← 石原 慎太郎都知事

孔子の言葉 (精神的成長をとらえた言葉)

『子の曰く、吾れ

十有五にして学に志す。

三十にして立つ。

四十にして惑わず。

五十にして天命を知る。

六十にして耳順がう。

七十にして心の欲する所に従って、

矩を踰えず。』

(為政編)

わたしは十五歳で学問に志し、

三十になって独立した立場を持ち、

四十になってあれこれと迷わず、

五十になって天命 (人間の力を超えた運命) をわきまえ、

六十になって人の言葉がすなおに聞かれ、

七十になると思うままにふるまって、
それで道はずれないようになった。

この孔子の言葉は、人生50、60年で人が亡くなっていた頃の言葉

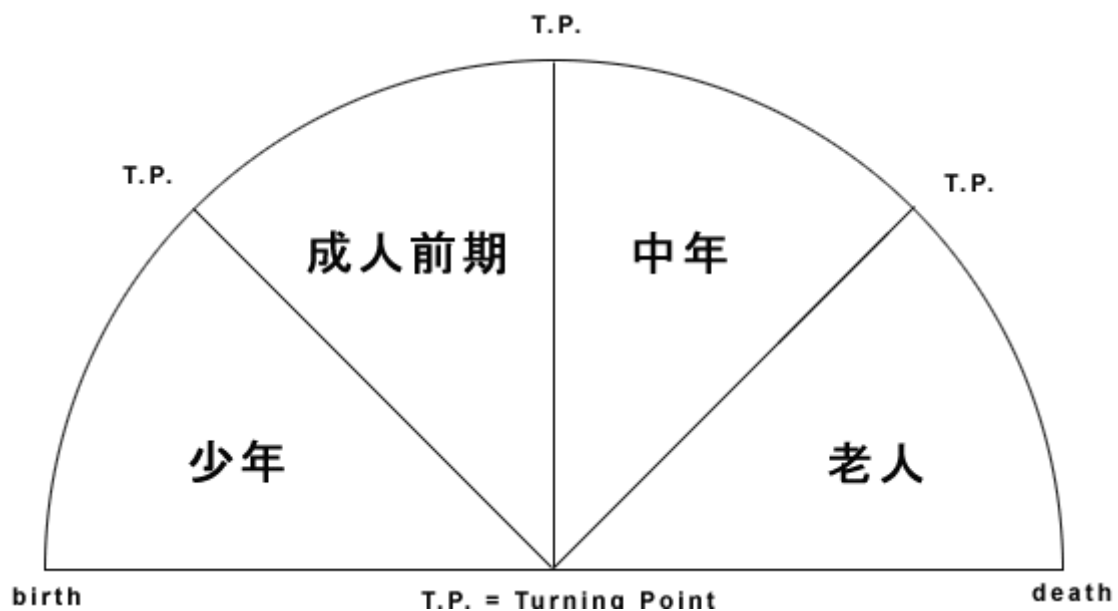
今は、人生80、90年の時代

だから 孔子の言葉 × 1.5倍 と考えて

40歳 人生迷わず → まだまだ 迷いながら自分を見つめて探しても OK！

～カール・グスタフ・ユングの人生論～

人生を一日の太陽の運行になぞらえて理論を考えました。そして人生は 4 つの時期に分かれ、それは図のように表されます。



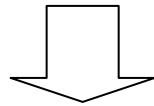
的には捉えることができないためある時期から次の時期に行く間には「転換期」があり、それは危機の時期です。

最初の少年期はまだ自己を客観に問題は少ないとされます。また、最後の老人期も自己の意識状態に無頓着になっていくので、問題がないとしました。

つまり、大事なのは成人期と中年期ということになります。ユングはこの時期を人生の午前（前半）から午後（後半）への移行期として、特に中年期の転換期が人生最大の危機となるだろう、としました。

午前は自分が上昇し、拡大していく時期です。体は大きくなり、力も強くなり、世界も広がります。この時期は、個体として発展することと、世の中に定着すること、そして生

殖、社会的達成にその意義があります。それが 12 時、つまりお昼になると下降しはじめる。
 「太陽は、予測しなかった正午の絶頂に達する。予測しなかったというのは、その一度限りの個人的存在にとって、その南中点を前もって知ることができないからである。正午 12 時に下降が始まる。しかも、この下降は午前すべての価値と理想の転倒である。太陽は、矛盾に陥る」このとき、人間は自己を真剣に考えることになりす。午前と同じ生き方はできない。ここで大事になるのがユングの言葉で言えば「個性化」であり、そのためには生き方や価値観の転換しなければなりません。



40歳が価値観の転換期

歯科衛生士の仕事は、キャリア職だと認識していますが

20代 人間性・知識・技術を一から学ぶ

30代 人生の経験をたくさん踏む時期

40代 人間として歯科衛生士として輝き始める時期

しかし 実際には

歯科衛生士の層がとても薄い! なぜ? ← 業界的な大きな責任

そこで

真ん中にあるもの(コア) → 現場で役に立つ歯科衛生士をたくさん輩出したい!

自分のコアから → 私の使命へ

その源泉

- ・ 現場で起こっていること

治せるはずの患者様を治せていない事実



歯肉縁上、縁下のコントロールの出来る歯科衛生士を多く輩出するという私の使命

私の感想

先生のお話は もっともだと感動しました!

私は、まだまだ 学ぶ立場の人間で残念ですが、きっと 私も自身を持ってそんな衛生士を輩出出来る人になれる様にがんばりたいと思います

読書会

私がこの読書会でとても感動した事

「 人生 笑って過した者が 勝ち 」				黒寄 恵子さん
しくしく	(泣く)	4 × 9 →	36	
はっは	(笑う)	8 × 8 →	64	あわせて人生は 100

私の感想

この言葉は、眼からうろこで 今まで張り詰めていた気持ちが楽になりました
いつも 物事を深刻に考える私にとって、救いの言葉になりました
わたしの今にフィットしていてすごく心に入り込みました

上間先生の講義

☆モチベーションアップの為に困る人

若い人 (実感のない人) → 病識が薄い

反応が無いのは、私達のコミュニケーション能力が無い訳ではなく
日本人の口腔内に対する意識・知識レベルが低い為



切々とこんこんと説明するしか方法はない (教育)

知識の無い人には、諦めるしかないのか？！

しかし 繰り返し教育し続けると 聞いていない様でも ふとした瞬間、
知識・認識として出てくる時期がある だから繰り返す事が大事！

年配の方 → お口の健康に意識の無い時代に生きてきているからとても難しい

しかし 全てが 同じ考え方をしている訳ではないので見極めが大切

→ 年寄りという枠で全てを括ってしまってはダメ！！

必ず 名前で呼ぶ (おばあちゃん、おじいちゃんとは呼ばない)

その方の尊厳を守らないといけないので 子供より難しい



良い意味で あきらめる

来てくださるだけで 有り難い

～患者様の診かた、信頼を得る為には？～

その患者様自身を見極める → 間違って指導すると後が大変

“ その方の興味は どこにあるんだろう？！ ” と考える

1. 年齢 年代に特徴がある
2. 職業 この方は何をされているのだろう？ 保険証を見て
3. 服装 外見の判断材料
 - EX、一度も白髪を見せたことが無い人 ← とても審美性を重視している
 - トータル性の無い人 ← 細かな事を言っても受け入れてもらえない
 - “ その人なり ” が外に出てくる ⇨ それに対して対応する

歯科衛生士の仕事は 「人を見る目」 が 大事
40代位から出来る事

私自身に大切な事は ⇨ 信頼してもらえる事

患者様がお口を見せる心理 → {
 デリケート
 デリカシーのある
 繊細性
 } → 清潔感がある
 洗練された雰囲気がないと患者様に口を開けてもらえない！

医療職でも私達 歯科衛生士と看護師とは異種で、

- ・ 歯科衛生士 — 生活に密着している様で生活感とは違う
- ・ 看護師 — 生活と密着している （ 糞、尿にまみれる ）

～信頼を得る為に～

- ・ 名前を呼ぶ → 距離感を縮める
- ・
- ・ 男性で無口で気難しい方 → どこをつつけば落ちるか？
 ↓
 反対に自分の気持ち（怖さ）を隠している事が多い
 ↓
丁寧に接する事
- ・ 問診表をよく見る → 攻める所を探して話の糸口を見つける → 心のひもの糸口
- ・ 服装 → おしゃれ

- ・ 患者様の想いのありか → 良いと思ってこちらがしている事が押し付けになっている事がある

～ コーチングの先生に教えてもらって成功した言葉 ～

「 ○○さん、本当は、どうして欲しいのですか？ 」

- 触られたくないんです！
- もっと、聞かせてもらっても良いですか？
- 僕は、昔 歯に熱心だったんです
だから 歯医者さんにずっと通っていたんですが、歯医者に触られると
歯を抜かれるんです！
- でも 歯科衛生士さんなら歯を抜かないので触ってもらっても良いです



切口を変えてみる

勝手に患者様のことを決め付けしないで患者様に尋ねてみるのも大事な事

～私達が信頼を得る為に気をつける点～

- ・ **清潔感** — 自分に磨きをかけて仕事オンの時に綺麗にする
- ・ **正直さ** — 分からない事を分からないと正直に言う
その正直さが 信頼に繋がり、この歯科衛生士に話すと
ちゃんとドクターに伝えてくれると思っていただける

自分の患者様ファイルを作る ← 一人の患者様に対する思い入れ 愛が大事

まとめ・感想

一日の勉強会が あっという間に終わり 一番今回勉強した事が “ 人生観 ” でした
参加した衛生士の発言を聞いただけでも 1つのことに 心を打つところが あれだけ
違い 「 人それぞれ千差万別 」 という言葉を 身をもって感じました
きっと 患者様もそれと同じで 1つに括るのはすごく間違った事！
先生が言った “ その方自身を見極める ” と言葉が、本当にしみ込んで来ました
今までも感じていた事ですが、私に「その患者様のオーダーメイドの歯科衛生士になれる
よう」全てにおいてレベルアップする為、これからもがんばります